

会 議 録

会議の名称	第4回JR行田駅前広場周辺再整備基本計画検討委員会
開催日時	平成27年2月17日(火) 開会：14時00分 ・ 閉会：16時20分
開催場所	行田市産業文化会館2階 2B会議室
出席者(委員) 氏名	田尻 要、酒井建二、櫛引浩士、柳澤 守、酒井敦司、清水直人 伊東絵里子、富岡 誠
欠席者(委員) 氏名	小川雅以
事務局等	石川都市計画課長、加藤主幹、金子主幹、金子主査、青山主任 大日本コンサルタント(株)：青木、木下
会議内容	(1) JR行田駅前広場周辺再整備基本計画(素案)について
会議資料	(資料名・概要等) ・ 次第 ・ 資料-1 JR行田駅前広場周辺再整備基本計画(素案)
その他必要 事項	傍聴者1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>田尻委員長</p> <p>事務局</p> <p>田尻委員長</p> <p>柳澤委員</p> <p>事務局（加藤主幹）</p>	<p>開会の宣言（金子主査）</p> <p>委員長あいさつ</p> <p>（議事）</p> <p>議事(1)「J R 行田駅前広場周辺再整備基本計画（素案）について」事務局からの説明を求める。</p> <p>（資料 1 に基づき J R 行田駅前広場周辺再整備基本計画（素案）について説明）</p> <p>事務局からの説明について、意見はあるか。</p> <p>前回、市有地 C の場所は大きい駐輪場を仮設する、ということだったが B に設置となっている。C の場所はどのように活用するのか。</p> <p>複合施設は A、E での建設案を説明されたが観光案内所や交番移設の問題が出てくる。他市の状況も見ると、駅に最も隣接した場所に設置したほうが利用価値は高いのではないかと。観光案内所は市の施設であるため比較的調整はしやすいと思うが、交番は県の施設であり、移転したばかりである。複合施設内への設置事例も少なく、難しいのではないかと。</p> <p>また、観光案内所や交番を含めた複合施設を E にした場合、A はどのように利用するのか。A でのイベント等の開催は難しいのではないかと。</p> <p>駐輪場については、C の場所に仮設駐輪場を作らず、当初から B へ立体駐輪場を整備する計画へと変更した。C の活用方法については、66 頁の「にぎわい形成に向けて」という文の下に「遊休市有地の有効活用（拠点機能の配置、売却等による土地利用転換）」と記載しており、75 頁に示す図のとおり売却等を考えている。</p> <p>観光案内所については、どの駅でも駅舎付近に設置している。E の場所に複合施設を設置する場合は観光案内所を含めることが</p>

	<p>可能だが、Aに建設した場合は現在の場所にて機能拡張を考えている。</p> <p>交番移転については、警察との調整はまだ行っていない。まだ新しい交番なので、慎重に検討し、早期に協議をしていきたい。</p> <p>Aの場所でのイベント開催等は危険ではないかという意見だが、敷地が狭いうえ交差点部になるため十分な安全対策を考えないと難しいため、デメリットとして挙げている。先ほどのCの場所と同様、66頁に示してあるとおり、イベント広場だけでなく売却も視野に入れて検討している。</p>
柳澤委員	<p>提案としてAの活用方法として、イベント広場としての利用よりは複合施設が良いと思うが、やはりEに様々な機能が集約された複合施設を設置した方が利便性は高いと思う。</p> <p>公園については、壱里山町内は人口減少が進んでおり、高齢者が多い中で、幅広い年代が利用できる健康遊具等の設置をすると利用者が増えるのではないか。そのような遊具が整備された公園となることで地区としての魅力も増し、人口の増加も見込めるのと思うため、ご一考いただきたい。</p>
事務局（石川課長）	<p>水城公園ではすでに健康遊具を設置している。壱里山公園の移設にあたっては、ご意見の通り検討していきたい。</p>
事務局（金子主幹）	<p>他にも向町公園や総合公園にも健康遊具を設置している。公園利用者の要望に基づき遊具の設置を進めているところであり、柳澤委員の意見をふまえ、検討していきたい。</p>
酒井(建)委員	<p>複合施設については、複合施設内の機能について詰める必要がある、その内容や規模によって位置も変わるのではないか。行田市民は行田駅の他、吹上駅や北鴻巣駅も利用しており、その中で行田駅に行政サービス機能を持たせた複合施設を整備するのであれば、そのあたりを含めた規模の整理も必要だと思う。</p> <p>地区拠点を作るという考えでは、Cの土地は売却以外の活用方法もあるのではないか。複合施設の規模によってはA・E以外に</p>

事務局（加藤主幹）	<p>Cという選択肢もある。A・Eの土地で拠点を作るというのは考え方として物足りないと感じる。</p> <p>複合施設の内容としては、計画書に記載しているように、行政サービス機能として住民票の受け取りサービスや子育て支援機能、コミュニティ機能のある多目的室などに加え、商業テナントの入居が可能な整備をする方向で検討している。詳細な内容については、次年度に精査する予定である。</p>
酒井(建)委員	<p>計画書内での表現としてはその程度が良いが、全市的な機能配置を考えた時に、どの程度の規模になることを想定するのか。想定していた規模と全く異なる可能性が出てくるため、全市的な視点から何の機能があるべきなのか考えておく必要がある。</p>
柳澤委員	<p>市有地Cを利用するという案は出なかったのか。AやEでは敷地が狭いと感じる。交番や観光案内所、観光来訪者の休憩施設、商業テナントなどは当然1階が望ましいし、子育て支援施設や多目的室は2階でいいと思われる。</p> <p>行田市民だけの利用であれば小規模でも良いが、市外からの利用も考えるのであれば、案では規模が小さいのではないか。ただ、隣接市との財政的な応分負担による整備は難しいと思われるため、行田市として財政的に可能な規模としなければならない。それを考えると複合施設の機能についてももう少し具体的な提示があれば良かったと感じる。</p> <p>地元では、市有地Cを売却し整備費用に充てても早急に拠点整備を行って欲しいと考えているが、この売却案は整備費用の捻出を想定した考えなのか。</p> <p>町内のイベントを行う際は、岩崎電気敷地内の余剰地を一時的に借りることで開催することは出来ないかとも考えている。</p>
酒井(建)委員	<p>本計画では、市有地を売却して事業費を捻出するという基本的な考え方なのか。</p>
事務局（加藤主	<p>売却は中長期的な考えであり、短期的整備においてそのような</p>

幹)	<p>考えのもと実施するわけではない。</p>
酒井(建)委員	<p>一番重要なのは、駅前の利便性が高いこの地区で住宅を作ることではないか。東京方面への通勤圏であることを考えると、住宅都市としての整備も必要ではないか。</p>
柳澤委員	<p>定住人口の増加が商業施設の立地を生み、地域コミュニティ施設の重要性も増すことも視野に入れ、複合施設の内容を検討した方が良い。住宅や商業施設の誘導は本気になればできないことはない。</p>
事務局（青山主任）	<p>岩崎電気の敷地内の独身寮が更地になった。住宅地として興味を持つ業者もいる。住宅地とする場合、接道要件を満たすには、市有地AとAB間の民有地を用いることが最善と考えられる。ワークショップで市有地以外に対する意見はなかったか。</p>
田尻委員長	<p>市有地をお話の民有地等と交換し、歩道の連続性を確保した方が良いとの意見はあった。</p>
富岡委員	<p>ワークショップの中では、大掛かりな換地に関する意見もあったが、出来る部分から整備を進め、成果を見せることも重要である。将来的に施設規模が足りないという状況になった際に、再度議論した方が良いと考える。</p>
伊東委員	<p>イベント広場としてはどのような活用や利用頻度を想定しているのか。交番は移設可能なのか。</p>
富岡委員	<p>また、Eの位置に複合施設を整備する場合、Aの位置はオープンスペース以外にも立体駐車場にするなどの選択肢もあると思う。</p>
事務局（加藤主幹）	<p>イベント広場をAにした場合、日陰になるのではないか。</p> <p>市有地Aについては、売却以外に賃借するという選択肢はないのか。他市ではそのような事例がある。また、複合施設やイベント時の駐車スペースはどのように確保する予定か。</p> <p>交番の移設については、まだ調整していない。イベント広場の活用方法は、具体的な利用方法やイベントの開催頻度までは検討</p>

<p>富岡委員</p>	<p>していないが、誰でも利用できるスペースとして、軽トラ朝市やコンサート、地元のイベントなどを想定している。</p> <p>Aの活用方法については、ご提案のような活用方法についても検討していきたい。</p> <p>駐車スペースについては、民間の駐車場利用を想定している。</p> <p>複合施設については、色々な施設が出店する可能性を含めて検討した方が良い。</p>
<p>櫛引委員</p>	<p>駅利用者には、行田市、鴻巣市、熊谷市の利用が考えられるが、駅利用者の居住地域の割合についてのデータはあるか。行田市民向けの行政サービスを整備する場合、他市からの駅利用者が多いのであれば整備効果は低い。</p>
<p>事務局（加藤主幹）</p>	<p>駅利用者アンケートでは、利用者全体の約60%が行田市民であり、約12%が熊谷市、約6%が鴻巣市であった。</p>
<p>田尻委員長 柳澤委員</p>	<p>今後、施設整備等により行田市民の利用がより増加すると良い。</p> <p>北新宿の区画整理事業が進展すると、鴻巣市からの利用がより増加すると思われる。地区の特性として、近隣市の利用者が多いのは事実であるが、それを考慮しては整備が進まない。行田市の玄関口にふさわしく、かつ財政的な面にも考慮しつつ身の内であった今の計画を5年間で実施してもらいたいと考える。</p>
<p>清水委員</p>	<p>複合施設の位置については、要検討となっているが、整備する機能によって決めるべきではないか。本日この会議で複合施設の位置を決めて欲しいとのことだが、会議がまだ開かれるのかによって変わってくる。事務局として、財政的に補助金や交付金を活用する制約もあるのかと思う。その辺りはどう考えているのか。</p>
<p>事務局（加藤主幹）</p>	<p>財政面では補助金や交付金を活用して来年度から5年で目に見える形で整備をしていきたいと考えている。</p> <p>また、事務局案としては前回Aの場所を提案したが、子育て支援施設や商業テナント等、必要機能の配置についてはA・Eどちらでも対応可能である。</p>

事務局（金子主査）	<p>事務局では、すでに庁内の関係各課に照会を行いおおよそ必要とされる機能については把握している。また、庁内検討委員会では、今後マイナンバー制度が整備されることから、行政サービスとしては、窓口機能ほどの規模は必要ないのではとの議論なされた。</p>
酒井(敦)委員	<p>62頁に示しているが、複合施設に予定している機能については、A・Eどちらの土地でも十分対応可能であると想定の上で提示している。</p> <p>今回、複合施設の位置を決定したい主旨は、次年度から都市計画の変更を行う必要があること、交付金事業としての申請を行うためには具体化された配置計画を示す必要があるためである。</p> <p>景観の観点では、どのようなものをイメージしているのか。手法としては地区計画や建築協定などの方法があると思う。複合施設については、AとEでは高さが異なってくるはずであり、景観面から考えると全体のランドデザインから検討をした方がよい。</p> <p>また、スポット的な整備の考え方だけでなく、行田駅は南の玄関口であることから、例えば水城公園や古代蓮の里などへ向けて散策的なルートとなるように健康遊具をするなど、まちなかへ誘導できるように、回遊性の面の考慮し整備していく考え方もあると思う。</p>
加藤主幹	<p>県道の緑化については、維持管理面で問題がある。樹木剪定の予算も削減されている中、適切な管理が仕切れない恐れがあり、整備自体は可能かもしれないが、維持管理の要望が現状でも出ており、道路サポートなどの導入を検討するなど、管理方法の整理が必要である。</p>
酒井(敦)委員	<p>地区計画や建築協定については、生垣の設置や敷地内緑化などを想定している。</p> <p>マンセル値を設定するなど、地区計画で厳しく縛りすぎると自</p>

	<p>由度がなくなり日常生活に支障が出る場合があるため、注意が必要である。</p>
事務局（加藤主幹）	<p>実施の際には十分配慮していきたい。</p>
事務局（金子主査）	<p>景観形成に関しては、市民意識を高めていかなければ規制を行うことは困難であることは認識しており、実施する際にはよく検討を行わなければならないと考えている。</p>
柳澤委員	<p>本日の主旨である複合施設の位置については、私の意見としては駅からの利便性と広さからEの方が良いと思う。</p> <p>将来的に岩崎電気の土地がどうなるかわからない中、Aの土地はいろいろな活用の可能性を残しておいたほうが良い。</p>
酒井(建)委員	<p>デッキが出来ない可能性があるとなれば、駅からの連続性を考慮するとEの方が良い。ただ、どちらの案にしてもデッキはあった方が良い。</p>
櫛引委員	<p>私もEの方が良いと思う。</p>
事務局（石川課長）	<p>本委員会の中ではEの方が良いとの意見が多い。パブリックコメント時の素案では2案併記とするが、次回の庁内検討委員会の中でも再度検討させて頂く。</p>
酒井(建)委員	<p>「地区拠点と相乗効果を発揮するまちづくり」を行うことは大変重要である。誘導方策として考えられる範囲で具体的に記載した方が良い。ただ、「地区拠点と相乗効果を発揮するまちづくり」については、表題として分かりにくいため、表現を工夫した方が良い。</p>
事務局（金子主査）	<p>細かい文言、表現や全体的な流れについては、パブリックコメント中に再度精査する。</p>
	<p>閉会の宣言（金子主査）</p>